

平成28年度第1回企画展

栄典のあゆみ

— 勲章と褒章 —

入場
無料



平成28年

5月21日

土

~7月2日

土

開催時間

月~土曜日(日曜、祝日は休止)

午前9時15分~午後5時

※都合により、休止することがあります。

独立行政法人

国立公文書館

NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園3番2号

TEL 03(3214)0621

http://www.archives.go.jp

平成 28 年度第 1 回企画展

栄典のあゆみ

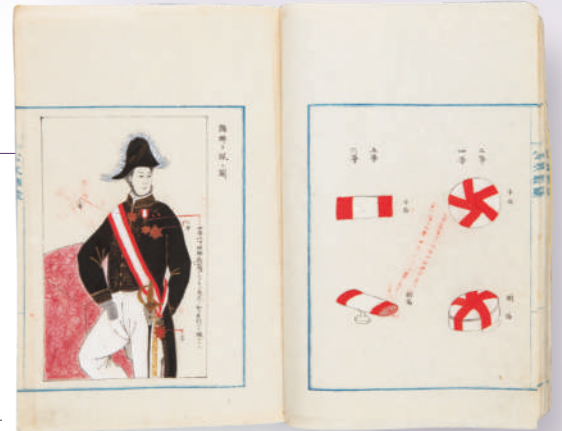
— 勲章と褒章 —

栄典とは、国家または公共に対する功労や社会の各分野において優れた行いのあった人物を表彰する制度です。本展では、栄典の一つである勲章・褒章をめぐる制度や、そこに関わった人びと、勲章の実物の展示を通じて、明治時代から今日までに至る栄典の歴史を振り返ります。

主な展示資料

栄典制度導入の検討

明治 4 年 (1871)、明治政府による栄典制度導入の検討がはじまりました。右の資料は明治 6 年に左院が正院に提出した報告書です。



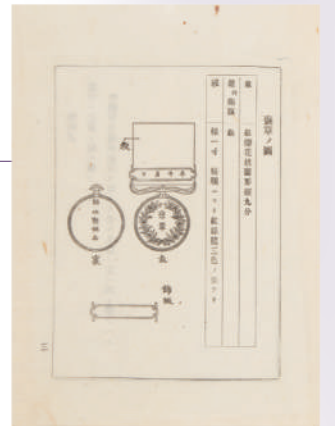
しょうはい じゅうぐんはい

賞牌・従軍牌の制定

明治 8 年 (1875)、国家に功績のあった人物に与えられる賞牌、台湾出兵従軍者に与えられる従軍牌が制定されました。左の資料は賞牌、従軍牌について定めた文書です。

褒章条例の制定

明治 14 年 (1881)、社会の各分野において功績をあげた人物を対象に、褒章条例が制定されました。右の資料は褒章条例に関する資料です。



けいしよく

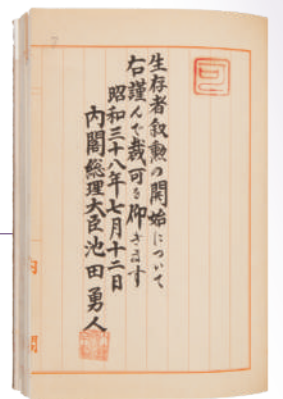
西園寺公望大勲位菊花章頸飾

昭和 3 年 (1928)、「最後の元老」と呼ばれた西園寺公望 (1849-1940) に授与された頸飾です。



生存者叙勲再開の閣議決定

戦後、生存者に対する叙勲は緊急を要する場合等を除いて停止されていましたが、昭和 38 年 (1963) に再開が決定されました。右の資料は生存者叙勲の再開を決定した閣議書です。



ギャラリー
・
トーク

～ギャラリー・トークのお知らせ～

企画展の見どころを企画者が解説します。
※所要時間 30 分程度 ※事前申込不要 ※1 階展示場へお集まりください。

6 月 1 日 (水) 午後 2 時～ / 6 月 22 日 (水) 午後 2 時～

独立行政法人
国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 3 番 2 号
TEL 03(3214)0621 <http://www.archives.go.jp>
アクセス：地下鉄東西線竹橋駅下車 [1b 出口] 徒歩 5 分

